

株主の皆さまへ

第159期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日



天然ガスを核とした
総合エネルギー
サービス事業を描く
トップメッセージ

天然ガスが担う次世代エネルギー
フォーカス

平成16年度上半期注目の取り組み
トピックス

業績の概況・環境指標

中間財務諸表(単体・連結)

会社の概況・グループ会社の紹介



あつたかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社

証券コード9534

はじめに

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、心より厚くお礼申しあげます。ここに当社の平成16年4月1日から9月30日までの業績をお伝えする第159期中間事業報告書を送らせていただきます。今号では、これまで皆さまから寄せられたご質問などにお答えしてまいります。当社の現状、また今後の事業展開についてご理解を深めていただく一助となりましたら幸いです。

経営方針と「2010年ビジョン」について
聞かせてください。

2010年ビジョン

次代のエネルギーを考え、北の生活文化を創造する、「地域のパイオニア」をめざす。

当社は、北海道におけるクリーンエネルギー・天然ガスのパイオニアとして、その普及と安定供給、そして常にお客さまの視点に立った価値あるサービスの提供に努めています。めざすのは、環境と人の暮らしが調和した地域社会の実現です。

2010年ビジョンは、ちょうど
2011年が創立100周年に
あたり、その時に、

天然ガスを核とした
総合エネルギーサービス事業を描く。

札幌駅南口のJRタワーは天然ガス
コージエネルギーシステムを
採用していただいております。

地域のお客さまから「エネルギーのことなら北ガス」と言っていたいただける「地域のスタンダードブランド」でありたいと考え、掲げたものです。2010年のめざす姿を「天然ガスを核とした総合エネルギーサービス事業」と描き、現在、「挑戦・環境変化先取り」とした2006年までの期間戦略を積極的に推し進めているところ です。

「挑戦・環境変化先取り」という戦略は
具体的にどのような内容ですか。

エネルギー業界は規制緩和によって従来の垣根を越えた厳しい競争の時代に突入しました。しかし、当社はこの機を、大きな可能性を秘めたエネルギーサービスのビジネスチャンスと捉え、事業拡大に向けた取り組みを進めております。天然ガス転換作業は2006年完了予定ですが、天然ガスを核としたマーケット拡大はもちろん、

規制緩和はチャンス。
環境変化を先取りして事業拡大を。

取締役社長
前泉洋三



新たな事業分野に対しても積極的にチャレンジしていきたいと考えています。

次代への飛躍のために必要な新技術や新商品の開発も盛んに行っており、新しいタイプの商品やエネルギーサービスなども順次導入しています。今後さらに規制緩和の波は押し寄せ、エネルギー業界の環境は激しく変化していくでしょう。当社は、この波を先取りし、何よりもお客さま、そして地域社会に喜ばれるクリーンエネルギーをより良い形で提供していくことで、この波に乗っていきたいと考えています。

新しい技術や商品にはどのようなものがありますか。

まず、戸建住宅向けマイホーム発電システム「エコウィル」(※P5参照)を2005年春に本格発売します。これは、エネルギーの効率的利用と地球温暖化防止への取り組みとしても注目されているガスコージェネレーションシステムの家庭用商品です。現在、モニターでご利用いただいているお客さまをはじめ、ハウスメーカーさまなどからも大変ご好評いただいております。

次に、エネルギーサービスプロバイダ事業がスタートしています。単に天然ガスを販売するのではなく、私どもがお客さまの近くに設備をおいて熱と電気を作り、お客さまに買っていただく新しいエネルギー供給形態で、今後急速に普及していくものと考えます。また、将来に向けて欠

**新技術・新商品が拓く次世代の
トータルなエネルギー供給形態の。**

かせない商品となる燃料電池については、北海道大学と共同研究するなど寒冷地向けの技術開発に取り組んでいます。「燃料電池なら北ガス」と言われる地位を確保したいと思います。



営業施策として取り組んでいる「地域深耕」について聞かせてください。

「地域深耕」とは、お客さまのニーズにきめ細かくお応えするための営業活動の施策のひとつです。私は就任以来「営業なくして事業なし、お客さまなくして企業なし」と言ってきました。お客さまに支持された企業のみが発展するという事実をいま一度肝に命じて仕事をする。お客さまのところへお伺いしたら、お客さまの声をよく聞いてニーズを正しく認識し、お客さま一件一件と強い絆を持つ。そういう営業活動を展開するということです。現在すべての部門でCS(お客さま満足度)向上のための取り組みを行っていますが、CSは、経営の基軸といえます。「地域深耕」もまさにCS向上をめざすものです。これを原動力として、どのような変化にも揺るがずお客さまにお選びいただける企業になるよう全社を挙げて行動していきたいと考えています。

**営業なくして事業なし、
お客さまなくして企業なし。**

天然ガスが担う 次世代エネルギー。

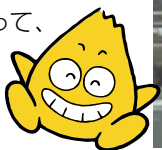
クリーンで高カロリー、しかも、安全・安定供給が可能と利点の多いエネルギー、天然ガス。当社では、現在、都市ガス原料を従来の石油系ガスから天然ガスへと転換する「天然ガス転換事業」を進めています。このページでは、進展状況とともに、事業の意義と効果、将来への見通しについてご紹介します。

2006年完了に向けて供給基盤の整備・転換作業が着々と進行中

国内で天然ガス化を図る場合、海外から輸入する液化天然ガス(LNG)による場合が一般的ですが、当社では、苫小牧市勇払(ゆうふつ)地区で産出される純北海道産の天然ガスを利用しています。

この天然ガスを、苫小牧から小樽まで道央圏を縦断するエネルギー動脈ともいえるパイプラインによって、札幌、小樽、千歳の各地域にお届けしています。供給安定性が高く、輸送効率のよい道産天然ガスの活用は、エネルギーの地産地消を促進して、北海道経済の活性

天然ガスへの転換が着々と進んでいます。



天然ガス受入基地・北広島供給所

化と地域の環境問題にも貢献しています。天然ガス転換作業は、既に完了した千歳地区に続き、2005年6月に札幌地区が、引き続き作業に入る小樽地区も2005年中に完了する予定です。

一方、2006年に天然ガス転換を予定している函館地区では、都市ガス原料として使用するLNG

を東京ガス(株)袖ヶ浦工場から受け入れるため、現在、LNG受入基地「函館みなと工場」を建設中です。

CHECK POINT 天然ガスの 3大メリット

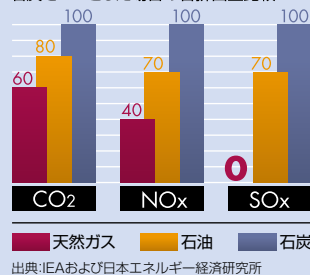
天然ガスの特長をちょっとおさらいしましょう。



●クリーン性

天然ガスは燃焼しても大気を汚染する硫黄酸化物(SOx)や煤じんが発生しません。また地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素(CO₂)や窒素酸化物(NOx)の発生量も石油や石炭と比べて少ないのが特長です。

石炭を100とした場合の各排出量比較



●安全性

天然ガスは、人体に有害な一酸化炭素を含んでいません。また、当社の場合、輸送の面でもパイプラインを利用するため(函館地区を除く)、天候や交通などの影響を受けず輸送ロスがほとんどありません。最も安全で効率的な輸送方法をとっています。

天然ガス利用技術によって クリーンで快適な暮らしを実現

クリーンなエネルギーである天然ガスは、北海道の素晴らしい自然を守るとともに、地球環境に貢献するエネルギーです。当社では、天然ガスへの転換と利用の促進を図り、より快適で豊かな暮らしと環境都市づくりに貢献していきます。



展示トラックのようす

その主なものをピックアップしてみましょう。

◆ガスコージェネレーションシステム

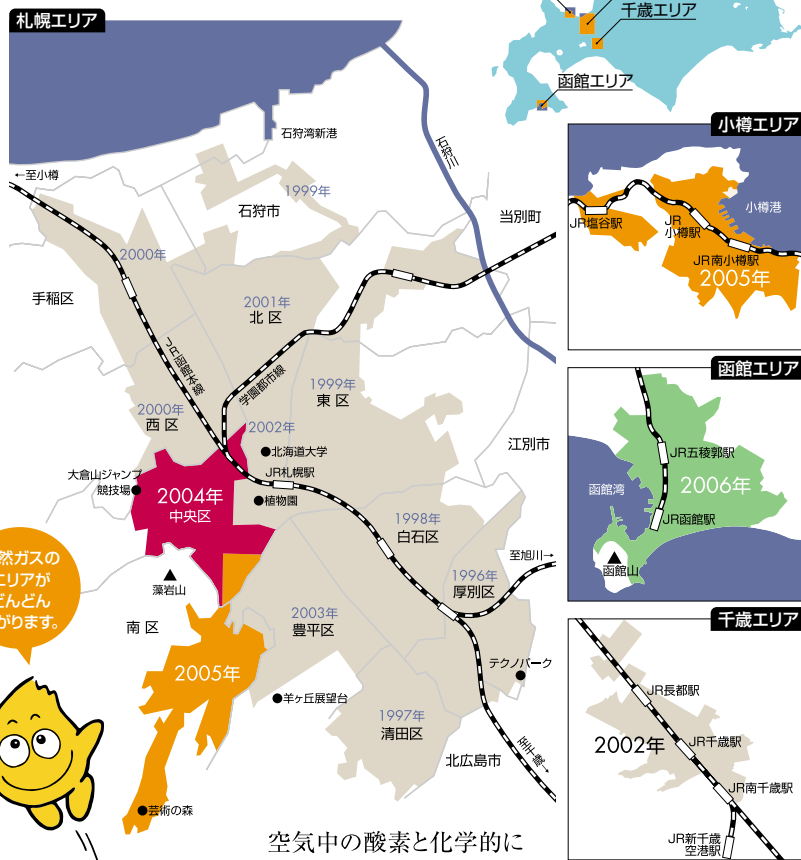
ガスエンジンやガスタービンなどで発電し、その時に発生する排ガスや排熱を回収して冷暖房などに有効利用するシステムです。

◆燃料電池

天然ガスの主成分、メタンから水素を取り出し、



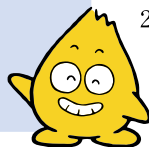
天然ガスの
エリアが
どんどん
広がります。



空気中の酸素と化学的に反応させ、電気と熱を同時に得ることができる高効率の発電装置。新しい都市エネルギーとして期待されています。

◆天然ガス自動車

低公害車として環境保全に大きく寄与する車。北海道のような寒冷地に適し、世界では既に200万台が走っています。

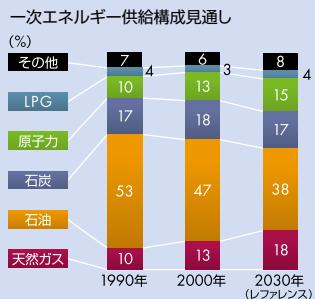


一次
エネルギーに
占める天然
ガス比率が
アップ。

●供給安定性

天然ガスは石油代替エネルギーのひとつとして、大きな期待がよせられています。(※)当社の場合、主に苫小牧勇払地区で産出される天然ガスを使用しますが、現在、約200億m³以上の埋蔵量が確認され、十分な安定供給量が確保されています。

※2004年10月総合資源エネルギー調査会報告書による



いよいよ2005年春、販売開始
「ガス・マイホーム発電 ECOWILL」

天然ガスから電気と熱を一度に生み出す「ガスコージェネレーションシステム」。全国的に大きな伸びを見せ、北海道でも、札幌ドーム、札幌駅JRタワーなど大規模プロジェクトに続々と採用されてきました。この効率的なシステムが、戸建住宅でも「ガス・マイホーム発電 ECOWILL (エコウ



排熱利用給湯暖房ユニット

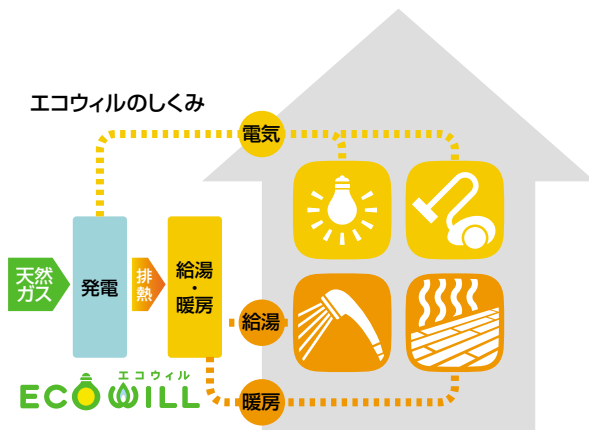


ガスエンジン発電ユニットの寒地テスト

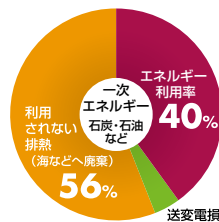
ル)」として2005年春から販売開始。電気も給湯も暖房もエコウィルにお任せで、エネルギー利用率は85%とムダがなくランニングコストを大きく節約。オール電化と比べると約3~4割の省エネルギーでCO₂も削減。北の暮らしは、エコウィルによってもっと賢く快適に生まれ変わります。

ホテル日航千歳様が第1号となってスタート
エネルギーサービスプロバイダ事業

この秋、本格始動したエネルギーサービスプロバイダ (ESP) 事業。この事業は、お客さまが必要とする電気や熱などのエネルギーを、必要とされる場所で当社がつくり供給するオンサイト・エネルギーサービスです。お客さまは設備の初期投資やシステムの運用に伴うさまざまなリスクを負うことなく省エネ、

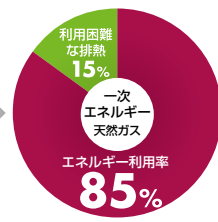


従来システム
 発電所と需要地が遠く離れているため、発電時に発生する熱を再利用できません。



出典：(社)日本ガス協会

エコウィル
 家で発電するので、発電時に発生する熱を給湯や暖房に高効率で利用できます。



省コストを実現でき、大きなメリットを得られます。この事業の契約第1号となったのは、千歳市にあるホテル日航千歳様。同ホテルの敷地で発電した電気ならびに発生した温熱・冷熱をホテル内の空調、給湯用として供給します。当社では、業務用・産業用の新しいエネルギーサービスとして注目されているこのESP事業の普及に努めていきます。

TOPICS#01

札幌マラソンの先導車は天然ガス自動車

エコ素材の活用や環境保全の紹介、リサイクル集積所設置など、環境エコ活動を推進しているイベント「札幌マラソン」に、低公害車の天然ガス自動車を先導車として提供しました。環境意識の啓発に少しでも



役立てたら…との思いがけない、沿道の応援する人々の関心を集めました。

TOPICS#02

校外学習講座 in サッポロファクトリー

サッポロファクトリー運営会社の恵比寿ガーデンプレイス(株)様と当社が合同で開催した「ファクトリーアドベンチャー」。「天然ガス」や「ガスコージェネレーション」などの仕組みを小中学生に体感してもらうプログラムです。

参加者は音と熱さに驚きながら熱心に見学していました。



TOPICS#03

大学への研究助成制度を創設

道内の国公立・市立大学などの研究機関に対する研究助成制度を創設し、



北海道大学大学院工学研究科様を適用第1号に認定。過去に燃料電池に関する共同研究を行った実績があり、環境・寒冷地技術などの研究も盛んなことから選ばれたもので、研究の成果が期待されます。

TOPICS#04

ガスの便利を実感できるイベントトラック

今年9月にお目見えしたイベントトラックは「ガス・マイホーム発電 ECOWILL」やガス温水浴室暖房乾燥機「ホットドライ」など先進のガス設備を搭載。各地のイベントに出向き、デモンストレーションを通してガス設備の便利さ、快適性を実感してもらっています。次はあなたの街にも行くかも…



業績の概況

営業の概況

当上半期の新設件数は2,334件で、当上半期末のお客さま件数は55万6,902件となりました。

ガス販売量は、前年同期に比べ4.9%増の130百万m³となりました。このうち、家庭用につきましては、夏場の気温が高めに推移したこと等により前年同期に比べ2.0%減の44百万m³、業務用（商業用・工業用・公用および医療用）につきましては、空調需要の増加や大口業務用の新規稼働等により、前年同期に比べ8.9%増の86百万m³となりました。

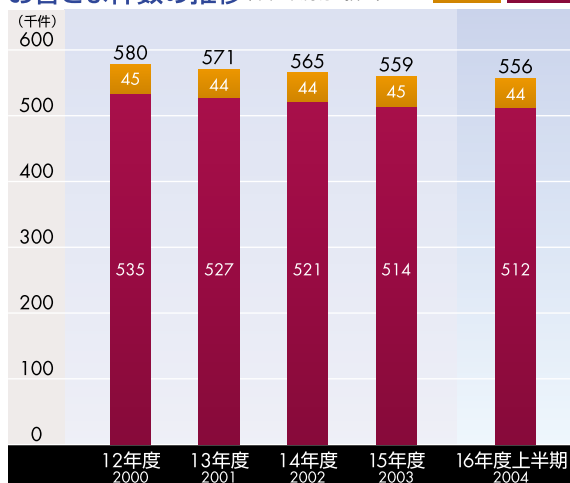
収支の状況

ガス売上高につきましては、本年5月に実施しましたガス料金引き下げ等により、前年同期に比べ1.5%減の16,510百万円となりました。

営業雑収益につきましては、小型空調機器の直接販売台数の減少等により、前年同期に比べ4.6%減の2,454百万円となりました。また、附帯事業収益につきましては、前年同期に比べ0.5%増の614百万円となりました。これらの結果、総売上高は、前年同期に比べ1.8%減の19,580百万円となりました。

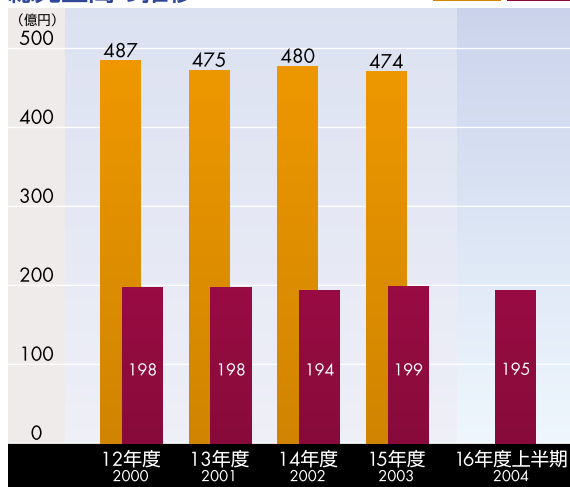
一方、費用の面におきましては、天然ガス転換の進捗に伴う製造設備縮小を主な要因とする減価償却費の低減および経営全般にわたるコスト削減に努めました結果、経常利益は458百万円となりました。また特別利益として、退職給付制度改定利益を計上いたしました結果、中間純利益は499百万円となりました。

お客さま件数の推移（単位未満切り捨て）



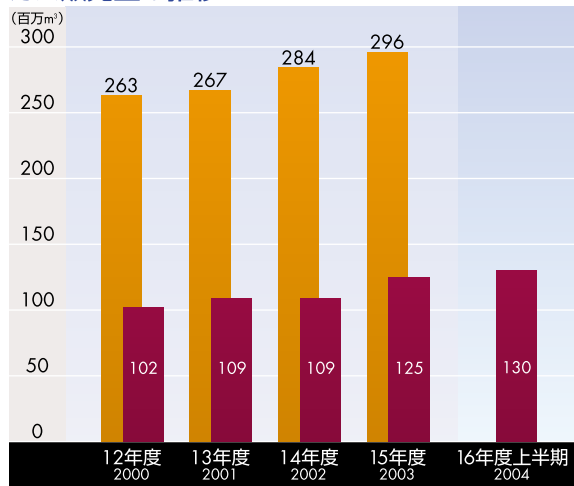
※お客さま件数の減少の中には、2000年4月に新設した「家庭用温水式暖房・給湯契約（ゆ〜めっく24）」、および2003年1月に新設した「家庭用セントラルヒーティング契約（ゆ〜めっく24ネオ）」採用による一戸2メーター設置から1メーターへの変更分も含みます。

総売上高の推移（単位未満切り捨て）

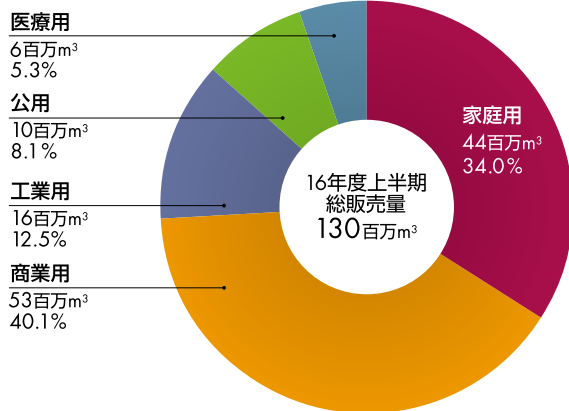


環境指標

ガス販売量の推移 (46.04655MJ換算・単位未満切り捨て) 通期 上半期

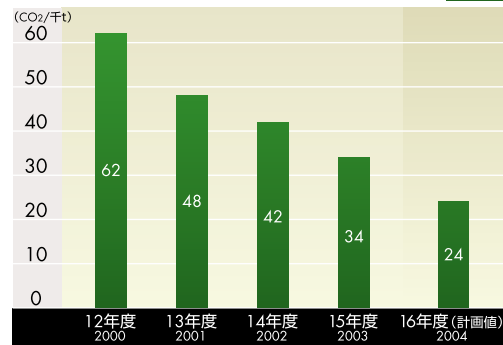


用途別ガス販売量 (46.04655MJ換算・単位未満切り捨て)

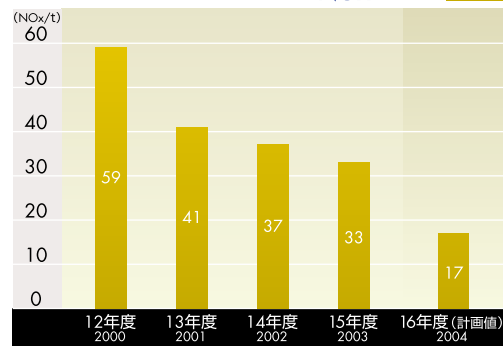


北海道の豊かな自然環境を守るべく、省資源、省エネルギー、環境保全などに全社を挙げて取り組み、省エネとCO₂の削減に有効なエネルギーサービスプロバイダ事業など新事業も始動。天然ガス転換事業によってガス製造段階・供給過程における環境負荷は激減しました。特にCO₂の削減量は1999年度と比較して2003年度で50%、2004年度は35%まで削減される見込みです。

都市ガス製造・供給過程におけるCO₂排出量 CO₂



都市ガス製造・供給過程におけるNO_x排出量 NO_x



中間財務諸表(単体)

中間貸借対照表

資産の部	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
固定資産	75,908	76,570
有形固定資産	67,265	67,245
製造設備	3,940	7,948
供給設備	49,436	46,189
業務設備	7,525	7,556
附帯事業設備	982	1,013
建設仮勘定	5,381	4,537
無形固定資産	1,937	2,152
ソフトウェア	1,889	2,103
その他無形固定資産	47	49
投資その他の資産	6,706	7,171
投資有価証券	3,218	3,190
繰延税金資産	698	1,475
その他	2,861	2,594
貸倒引当金	△ 72	△ 88
流動資産	10,934	9,681
現金及び預金	445	2,383
受取手形	191	238
売掛金	2,833	4,363
製品・原料及び貯蔵品	434	589
繰延税金資産	364	380
その他	6,892	1,945
貸倒引当金	△ 225	△ 219
繰延資産	4,686	4,646
開発費	4,686	4,646
資産合計	91,529	90,898

(単位:百万円)

負債の部	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
固定負債	54,769	56,303
社債	18,000	18,000
転換社債	6,802	6,802
長期借入金	28,102	29,568
再評価に係る繰延税金負債	152	154
退職給付引当金	1,295	1,396
ガスホルダー修繕引当金	375	382
その他	42	-
流動負債	14,704	12,675
1年以内に期限到来の固定負債	5,594	5,418
買掛金	1,142	1,857
短期借入金	2,572	-
未払法人税等	222	945
その他	5,172	4,453
負債合計	69,474	68,978

資本の部	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
資本金	3,821	3,821
資本剰余金	1,582	1,582
利益剰余金	15,721	15,588
土地再評価差額金	269	272
その他有価証券評価差額金	707	696
自己株式	△ 46	△ 42
資本合計	22,055	21,919
負債・資本合計	91,529	90,898

中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (16.4.1~16.9.30)	前中間期 (15.4.1~15.9.30)
製品売上	16,510	16,759
ガス売上	16,510	16,759
売上原価	5,209	5,684
売上総利益	11,300	11,075
供給販売費	9,915	9,759
一般管理費	1,026	1,075
事業利益	358	240
営業雑収益	2,454	2,573
営業雑費用	2,254	2,392
附帯事業収益	614	611
附帯事業費用	420	455
営業利益	753	577
営業外収益	325	174
受取利息	1	0
その他	324	174
営業外費用	620	701
支払利息	371	411
社債利息	135	135
その他	113	154
経常利益	458	50
特別利益	475	-
退職給付制度改定利益	475	-
税引前中間純利益	934	50
法人税等	-	94
法人税等調整額	435	△ 60
中間純利益	499	16
前期繰越利益	842	329
土地再評価差額金取崩額	3	△ 0
中間未処分利益	1,345	345

主要な経営指標

(単位:百万円)

	当中間期 (16.4.1~16.9.30)
売上高	19,580
経常利益	458
中間純利益	499
株主資本	22,055
総資産	91,529
1株当たり中間純利益(円)	8.09
1株当たり株主資本(円)	357.54
株主資本比率(%)	24.1

(注) 売上高の内訳は、ガス売上高、受注工事収益、器具販売収益、その他営業雑収益、附帯事業収益となっております。

中間財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表

資産の部	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
固定資産	82,472	82,999
有形固定資産	72,763	72,360
製造設備	3,940	7,948
供給設備	48,785	45,474
業務設備	7,493	7,522
その他の設備	6,978	6,869
建設仮勘定	5,566	4,547
無形固定資産	2,112	2,339
その他の無形固定資産	2,112	2,339
投資その他の資産	7,596	8,298
投資有価証券	5,210	5,208
繰延税金資産	1,424	2,201
その他	1,082	1,025
貸倒引当金	△ 121	△ 136
流動資産	12,859	15,701
現金及び預金	1,244	3,378
受取手形及び売掛金	4,666	6,949
たな卸資産	1,854	1,400
繰延税金資産	538	486
その他	4,832	3,762
貸倒引当金	△ 277	△ 274
繰延資産	4,686	4,646
開発費	4,686	4,646
資産合計	100,018	103,348

(単位:百万円)

負債の部	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
固定負債	57,334	58,587
社債	18,000	18,000
転換社債	6,802	6,802
長期借入金	29,462	30,669
再評価に係る繰延税金負債	152	154
退職給付引当金	2,493	2,564
ガスホルダー修繕引当金	375	382
その他	48	13
流動負債	17,082	19,345
1年以内に期限到来の固定負債	6,126	5,973
支払手形及び買掛金	2,880	3,886
短期借入金	2,672	2,926
その他	5,402	6,559
負債合計	74,416	77,932

少数株主持分	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
少数株主持分合計	35	33

資本の部	当中間期 (16.9.30)	前 期 (16.3.31)
資本金	3,821	3,821
資本剰余金	1,582	1,582
利益剰余金	19,227	19,047
土地再評価差額金	269	272
その他有価証券評価差額金	711	699
自己株式	△ 46	△ 42
資本合計	25,565	25,381
負債、少数株主持分及び資本合計	100,018	103,348

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (16.4.1~16.9.30)	前中間期 (15.4.1~15.9.30)
売上高	26,482	25,668
売上原価	12,765	12,290
売上総利益	13,717	13,377
供給販売費及び一般管理費	12,807	12,549
供給販売費	11,402	11,106
一般管理費	1,405	1,443
営業利益	909	827
営業外収益	339	173
受取利息	1	1
受取配当金	23	17
賃貸料収入	93	91
その他の営業外収益	220	62
営業外費用	663	775
支払利息	535	571
その他の営業外費用	128	204
経常利益	585	224
特別利益	475	-
退職給付制度改定利益	475	-
税金等調整前中間純利益	1,060	224
法人税、住民税及び事業税	136	△ 238
法人税等調整額	365	△ 107
少数株主損益	2	25
中間純利益	556	119

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 (16.4.1~16.9.30)	前中間期 (15.4.1~15.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,296	4,015
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,760	△ 4,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,681	△ 1,576
現金及び現金同等物の減少額	△ 2,146	△ 2,237
現金及び現金同等物の期首残高	3,264	3,751
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,118	1,513

主要な連結経営指標

(単位:百万円)

	当中間期 (16.4.1~16.9.30)
売上高	26,482
経常利益	585
中間純利益	556
株主資本	25,565
総資産	100,018
1株当たり中間純利益(円)	9.02
1株当たり株主資本(円)	414.44
株主資本比率(%)	25.6

会社の概況

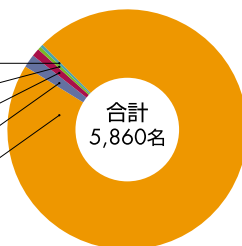
主な事業の内容

- ガスの製造・供給および販売
- ガス器具の販売およびこれに関連する建設工事

株式分布状況

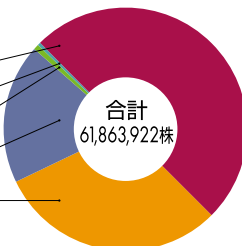
株主数構成比

- 証券会社 0.39%
- 外国法人等 0.44%
- 金融機関 1.08%
- その他法人 1.78%
- 個人その他 96.31%



株式数構成比

- 金融機関 49.92%
- 証券会社 0.40%
- 外国法人等 0.72%
- その他法人 18.58%
- 個人その他 30.38%



(注) 1. 比率は小数第3位以下を切り捨てております。
2. 個人その他には自己名義株式を、その他法人には政府・地方公共団体および証券保管振替機構名義株式をそれぞれ含めております。

主な事業所

- 本社……………札幌市中央区大通西7丁目3番地1
- 札幌工場……………札幌市中央区北4条東5丁目373
- 小樽支店……………小樽市入船4丁目33-1
- 小樽工場……………小樽市塩谷4丁目155
- 函館支店・函館工場……………函館市万代町8-1
- 千歳支店……………千歳市清水町1丁目1-1

株式の状況

- 資本金 3,821,827,757円
- 会社が発行する株式の総数 160,000,000株
- 発行済株式の総数 61,863,922株
- 株主総数 5,860名
- 大株主

株主名	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
日本生命保険相互会社	5,320	8.79
第一生命保険相互会社	5,000	8.26
東京瓦斯株式会社	4,274	7.06
株式会社北洋銀行	3,006	4.96
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	2,629	4.34
札幌市	2,244	3.70
北海道信用農業協同組合連合会	2,000	3.30
株式会社北海道銀行	2,000	3.30
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,640	2.70
明治安田生命保険相互会社	1,450	2.39

(平成16年9月30日現在)

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
2. 議決権比率は小数第3位以下を切り捨てております。
3. みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数2,629千株は、株式会社みずほ銀行が委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は、株式会社みずほ銀行が留保しております。

役員

- | | |
|------------------|------------------|
| 取締役会長……………佐々木 正丞 | 取締役……………種畑 徹 |
| 取締役社長……………前泉 洋三 | 取締役……………早崎 正一 |
| 取締役副社長……………大槻 博 | 取締役……………岡崎 哲哉 |
| 常務取締役……………高橋 雄介 | 常勤監査役……………井川 洋 |
| 常務取締役……………濱多 悟 | 常勤監査役……………越前谷 正俊 |
| 取締役相談役……………鍵山 一郎 | 監査役……………安達 正 |
| 取締役……………花坂 耕治 | 監査役……………高橋 賢治 |
| 取締役……………小林 信介 | |

(平成16年9月30日現在)

グループ会社の紹介

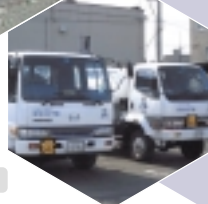


連結決算情報をご報告するにあたり、当社の連結子会社をご紹介します。
今後とも、グループ各社共々どうぞよろしくお願いいたします。

連結子会社ピックアップ

北ガスジェネックス

安全でクリーンなLPガスの供給を中心に灯油や重油などの燃料の供給、さらに、LPガスを活用したさまざまなエネルギービジネスにも積極的に取り組んでいます。各種ガス機器の販売、ロードヒーティング、ガスヒートポンプエアコン、ガスコージェネレーションなど進化するガステクノロジーを導入し、常にお客さまニーズに応える事業を展開しています。



その他にも以下のグループ会社がございます。

持分法適用非連結子会社	持分法適用関連会社	持分法非適用非連結子会社
北東住設機器(株)	ケージーセントラルスポーツ(株)	(株)エネッセル
石狩サービス(株)	(株)北海道熱供給公社	(株)エフ・シー・プラン
北ガスシステムサポート(株)	(株)サッポロエネルギーサービス	(株)北ガス建設ホームサービス
(株)小樽ガス住設	(株)日石プロパン供給センター	キタケン工業(株)
		(株)寿楽

コラム：ガスで快適



🔥 パワーキッチン 🔥

魚介ときょうりの辛味炒め

ガスだから炎のパワーでシャキッとおいし〜い！
炒めものは、フライパンを返しながら強火であおり、手早く調理するのがコツ。
きょうりはシャキッ、魚介はふっくら仕上がります。

- ① いかは、タテに7mm幅の切り込みを入れ、ヨコにしてそぎ切りにする。
- ② ほたてをボウルに入れA材料をまぶし、油で揚げる。
- ③ きょうりは塩をふり、板ずりし、タテ4等分に切ってから乱切りにする。
- ④ 赤唐辛子は水に浸して種を取り小口切りにする。にんにくはみじん切りにする。
- ⑤ 中華鍋にサラダ油と④を入れ火にかけ、香りが出たら③のきょうりを入れ炒める。
- ⑥ ①と②を加えB調味料を入れ、とろみがついたら、ごま油を加えて火を止める。

材料/6人分	
もんごういか	150g
ほたて貝柱	6個
A	酒 大さじ1
材料	卵白 1/2個
	片栗粉 大さじ2
きょうり	3本
赤唐辛子	1本
にんにく	1/2片
B	さとう 大さじ1/2強
	酒 大さじ2
調味料	しょうゆ 小さじ2
	塩 少々
サラダ油	大さじ2
ごま油	小さじ1
揚げ油	適量

北ガスキッチンスクール主任講師・坂井美恵子

株式についてのご案内

- 決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもってその決算期に関する定時株主総会において議決権を行使することができる株主といたします。
- 名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 郵便番号 168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社
証券代行事務センター
電話 東京(03)3323-7111
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店、全国各支店
- 手数料 名義書換手数料は無料
新株券交付手数料は新株券発行に係る印紙税相当額
- 公告掲載紙 日本経済新聞
●決算公告(貸借対照表および損益計算書)掲載のホームページアドレス
<http://www.hokkaido-gas.co.jp/ir/koukoku.html>
- 上場取引所 東京証券取引所・札幌証券取引所

**** 配当金のお受け取りは安全・便利な口座振込で ****

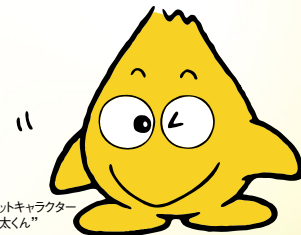
配当金振込制度のご案内

株主さまご所有の株式に対する配当金をご指定の銀行口座もしくは郵便貯金口座(通常貯金口座)へ直接入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振込先をご指定いただきますと、配当金のお支払いが決議されたつど、ご指定の口座へ自動的にお振り込みいたします。なお、次回の配当金から、銀行口座に加え、郵便貯金口座(通常貯金口座)へのお振り込みによるお受け取りができるようになりましたので、ご希望の株主さまは、下記名義書換代理人あてに配当金振込指定書をご請求のうえ、お申し込みください。

○事務のお取扱い(電話お問い合わせ・郵便物送付先)
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部(証券代行事務センター)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話：03-3323-7111 (9:00~17:00)
手続用紙請求専用電話：0120-87-2031 (24時間受付)

ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-gas.co.jp>



北ガス
マスコットキャラクター
“てん太くん”



あったかを、あなたに、街に、そして未来に。

北海道ガス株式会社



古紙配合率 100%再生紙を使用しています



この中間事業報告書は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。